

グッとくる山陰

2016 Winter 冬

ご自由にお持ち帰りください

【特集】 たたらへの 恩恵に 浴する

【山陰の逸品】

しまね 三昧

【グッとくるコラム】

鳥取の“文化”としての 牛骨ラーメン

米田 良順 隊員

吉田くんと島根

FROGMAN 隊員

【表紙写真】 出雲神楽

神話をもとに奉納する「出雲神楽」の舞いは、神事に沿うよう緩やかで厳か。その起源は、1608年(慶長13)、佐太神社の神主・宮川兵部少輔秀行氏が、京都に赴き習った「神能」を手本にはじめたものと伝わります。

鳥取県内には牛骨ダシのスープを使ったラーメン、いわゆる「牛骨ラーメン」を提供する店が70を超える数存在していて、その歴史は古く半世紀以上前から続く店舗も数多く存在しています。鳥取の牛骨ラーメンを応援し発信する任意団体「鳥取牛骨ラーメン応援団」が2009年に結成されましたが、それ以前は「牛骨ラーメン」と呼ばれるラーメンを提供するお店は「軒もありませんでした。なぜなら提供しているお店にとって「牛骨ラーメン」とは「普通のラーメン」であり「昔ながらの中華そば」だったのです。しかしこの昔ながら

鳥取牛骨ラーメン応援団 団長 米田 良順

鳥取の文化

としての

牛骨ラーメン



に渡った日本人と現地の中国人との交流の中で「牛骨スープのラーメン」と出会いました。戦後、旧満州から引き揚げ鳥取県に戻ってきた方が飲食店を営み、その時に中国人から習った「牛骨スープのラーメン」を出し始めたといわれています。また、豚骨や鶏骨ではなく「牛骨」が根付いた理由として、鳥取県は畜産業が非常に盛んで、日本三大牛馬市のひとつともいわれる「大山博労座」を有していました。飲食店で日々提供するには使用素材そのものが「安価であること」と「安定して手に入れることができる」ということが必要です。つまり鳥取県の産業や文化に裏付けられたからこそ根付いたの



米田 良順 隊員 (よなだりょうじゅん)

三徳山三佛寺 次長
鳥取牛骨ラーメン応援団 団長
鳥取県三朝町出身。山陰には食・歴史・風習など多くの魅力的な独自文化が残っています。また古刹と呼ばれる社寺も数多くあり、日本原風景が残されているのが山陰だと思います。様々な魅力が発信できればと思っています。



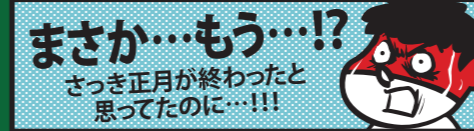
“吉田くんと島根”

私のアニメ作品、「秘密結社 鷹の爪(ひみつけっしゃ たかのつめ)」に登場してくる吉田くんは、旧吉田村[現 雲南市(うなんし)]出身という設定で、劇中にも何度か吉田村が登場してきた。吉田村を含むこの一帯は、古くから製鉄の里と知られ、江戸時代には全国で流通する鉄の9割近くも供給してきたという。しかし島根と金属のつながりは、鉄だけに限らない。荒神谷(こうじんだに)遺跡からは358本もの銅剣、加茂岩倉(かもしわくら)遺跡からは銅鐸(どうたく)が出土。世界遺産にも指定された石見銀山(いわみぎんざん)。そしてこの製鉄。これは何かの偶然だろうか?古事記にも頻繁に登場するのは、古くから多くの人が暮らし、栄えてきたのは間違いなし。そして古今東西、その混沌から、新しい技術や文化が生まれるのは常識だ。西欧では錬金術という、科学とも魔術ともつかない学問があった。島根には、出雲大社をはじめとする、特異な宗教文化が生まれ、製鉄も宗教と深く結びつく。そんな深い歴史的バックボーンを持つと言われると、吉田くんのあの仏頂面にも、何か深い意味がありそうな気がするのでは?実際に意味はないが。



FROGMAN (フログマン) 隊員
「秘密結社鷹の爪」を生んだアニメーション作家

アニメーション監督・株式会社ディーエール取締役、10代より映画ドラマの制作スタッフとして従事。30歳に、錦織良成監督の「白い船」のスタッフとして、山陰を訪れそのまま島根県に定住。2015年、山陰いも探検隊に入隊。



まさか...もう...!?!
さっき正月が終わったと思っただのに...!!!

島根

スーパーデラックス 自虐カレンダー 2017

DLE SHOPにて 好評発売中!



TWILIGHT EXPRESS 瑞風

2017年運行開始!

瑞風 検索



グッとくる山陰 冬号

発行元/JR西日本米子支社 鳥取県米子市弥生町2
☎0859-32-0255 *記載の情報は、2016年11月30日時点のものです。



実はとっても奥深い! 魅惑の「山陰」探検記

山陰いもの 検索 右記QRコードからサイトへGO! →



たたら製鉄の 恩恵に浴する

かつて、たたら製鉄という往時の最先端技術で、国内はおろか高い世界シェアを誇った鉄の国がありました。島根県東部、「神々のふるさと」と呼ばれる出雲地方がその重要な舞台です。ときに、たたら製鉄に携わる人々と里人との間に生じた摩擦が、ドラマチックに描かれることもあります。それは、ひとつの側面にすぎません。たたら製鉄がこの地に与え、未来という今に遺したものは、美しい風景や、誇れる文化として見事に花開いています。「なぜこれが？」と思われるあんなものも、たたら製鉄の恩恵かもしれません。

折り合いをつけて 豊かさを共有

出雲地方における「たたら製鉄」の古い記述は『出雲国風土記』（733年編纂）の中にあります。現在の仁多郡を指して「諸郷より出すところの鉄、堅くして、もつとも雑の具を造るに堪ふ」（仁多郡内から

出る鉄は堅く、様々な道具を造るにすぐれている）とあり、すでに当時、良質な鉄が造られていたことがわかります。

一方、日本最古の歴史書である『古事記』（712年編纂）には、出雲神話のひとつ『八岐大蛇退治』が記されています。同時期に書かれたこの2つを突き合わせてみると、たたら製鉄が出雲地方におよぼした影響が見えてきます。

物語の鍵を握るのは、奥出雲の船通山を源流にして宍道湖へと注ぐ大河、斐伊川です。古代から、氾濫を繰り返して人々の命を奪い、田んぼを破壊したという斐伊川は、神話の中、毎年やって来ては娘を食べてしまう八岐大蛇にたとえられたというのです。

その容姿は——ひとつの胴体に8つの頭と8つの尾をもち、目は鬼灯のように真っ赤で、体には苔や松が生え、8つの谷と8つの丘にまたがるほど巨大で、その腹はいつも血でただれている——なんともおどろおどろしい表現ですが、それは、幾つもの支流をもち、自然豊かな河岸が広がるまさに斐伊川を描写しよう。たたら製法で、原料となる砂鉄を採る作業「鉄穴流し」によって斐伊川には大量の土砂が流され赤く濁ったとも伝わります。さらに、砂鉄を溶かすときに必要な大量な木炭を作るため、奥出雲の森では大伐採が行われ、その結果、下流では洪水が頻繁に発生。これらの災害を、すべて八岐大蛇の仕業に結びつけたのです。

けれど、出雲地方のたたら製鉄は、決してそのままでは終わらず、きちんと折り合いをつけて、豊かさを共有したことが最大の特徴です。

たとえば、鉄穴流しによって農業用水となる斐伊川の水が汚染されるため、農閑期である秋の彼岸から春の彼岸までを、たたら製鉄の操業期間に限定。冬場に収入のなかつた農民たちは、たたら場で働くことができ家計が潤いました。

また、たたら製鉄が永続操業できるようにと、約30年周期の計画伐採により保全をすすめたことで、奥出雲には今も豊かな森林が広がっています。このことは、荒地地となった世界の鉱山跡を見れば、どれほど希有なケースか明白。たたら製鉄が遺したものは、出雲地方の暮らしを彩り文化と誇りをもたらしています。

須我神社 奥宮



八岐大蛇を退治した素戔嗚尊(すさのおのみこと)と奇稲田姫命(くしいなたひめのみこと)を祀る須我神社は、このお二人が日本で初めて宮殿をつくり、日本の国造りをはじめられたという神社。八雲山の中腹にそそり立つ神秘的な巨岩「夫婦岩(めおといわ)」が奥宮となっています。

島根県雲南市大東町須賀
アクセス: JR出雲大東駅から車で約20分
問い合わせ: 雲南市商工観光課
電話: 0854-43-2906

菅谷高殿



たたらに従事した人々の集落「菅谷たたら山内(さんない)」に残る製鉄工場「菅谷高殿」(国の重要有形民俗文化財)。全国で唯一現存する堂々とした建物は、1751年から170年間操業した当時の姿を復元。内部の様子まで見学することができます。

島根県雲南市吉田町吉田4210-2
アクセス: JR木次駅からタクシーで約30分
問い合わせ: 菅谷たたら山内・山内生活伝承館
電話: 0854-74-0350

斐伊川 河口の朝焼け

島根県仁多郡奥出雲町の船通山を源流とする一級河川・斐伊川。鉄穴流しによる大量の土砂は斐伊川を下り、下流域に東西20km、南北8km、面積130平方kmという広大な出雲平野を豊かに創造しています。



うんしゅう

雲州そろばん

たたら製鉄が盛んになるとともに、必然的に必要となるのが算用道具「そろばん」。当初は、商人が持参した芸州(広島)「塩屋小八」のそろばんが使われていましたが、どうしても修理する必要に迫られました。そこで地元の村上吉五郎という大工が、小八のそろばんを真似てつくったのが、「雲州そろばん」のはじまりと伝わります。現在は雲州そろばん伝統産業会館内において、雲州そろばんづくりが継承されています。

島根県仁多郡奥出雲町横田992-2
アクセス:JR出雲横田駅から徒歩約1分
問い合わせ:雲州そろばん伝統産業会館 電話:0854-52-0369

たたら全盛期だった江戸時代後期、出雲国は松江藩7代藩主・松平治郷が治めていました。治郷が藩主になった当初、松江藩の財政は破綻状態でしたが、才覚を発揮して立て直しに成功。その一翼を担ったのがたたらだったので。たたらで松江藩を立て直した治郷は、不昧公と呼ばれる粹人で、自ら茶道の流派を興したほどの人物。お茶や和菓子の文化が花開いていることもうなづけます。

日本の鉄の大部分を生産した時代があったという出雲国には、商人や職人をはじめ大勢の関係者が全国から群がりました。鉄の積み出し港として繁栄した安来市は、民謡「安来節」に合わせて踊るユニークな「どじょう掬い」で知られています。全国各地から寄港する北前船などの船乗りたちは、出港前の宴で、ふるさとの民謡をめでいめに歌いあつたのでしよう。これを聞いていた地元芸妓が、各地の民謡をベースにアレンジを加えて誕生させたのが民謡「安来節」の原形だといわれています。

このように、たたらが出雲地方にもたらした文化には、鉄に留まらない多彩さがあります。出雲地方のひとに会い、まち並みを歩き、感じられるのは一種の優雅さ。それは、たたら歴史に裏付けされた、しなやかなプライドなのかもしれません。



明々庵

松江7藩主・松平治郷(まつだいら はるさと)は「不昧(ふまい)」という雅号(がこう)をもつほどの風流人で茶道に通じ、不昧派茶道を大成させた偉人。そんな不昧公好みによって、松江市の高台に建てられた茶室が「明々庵」です。不昧公筆「明々庵」の額が掲げられた茅葺(かやぶき)の厚い入母屋(いりもや)を眺めながら、お抹茶を一服いただくことができます。このときのお菓子は、不昧公の和歌の一節から命名された「茶種の里」と「若草」。茶の湯とともに和菓子の文化も花開いています。

島根県松江市北堀町278
アクセス:JR松江駅から徒歩約10分
問い合わせ:明々庵 電話:0852-21-9863



龍頭ヶ滝

中国地方唯一の名瀑(めいばく)と称えられる雲南市の龍頭ヶ滝(りゅうずかたき)。名峰・鳥屋ヶ丸(とやがまる)を源流に、石英安山岩(せきえいあんざんがん)の岩肌を流れ落ちる落差40mの雄滝と、落差30mの雌滝からなる滝です。同町にある八重滝とともに「日本の滝100選」に選定されています。近くには鍛冶屋跡が残っています。

島根県雲南市掛合町松笠
アクセス:JR木次駅から車で約50分
問い合わせ:雲南市役所商工観光課
電話:0854-40-1054

改めて「たたら」とは、古来から続く日本の製鉄技術のこと。足で踏んで空気を吹き送る大きな轆(ふたじ)を踏踏(たた)るところから、一般に「たたら」といえば製鉄技術のことを指しています。

この「たたら」、操業するには大量の木材が必要で、その量といえば、1回の操業に12tの木炭を使ったのだそう。全盛期には1ヶ所のたたらだけで年間60回ほどの操業が行われていたともいいますから、気の遠くなるような量だったことがわかります。

また木材と同様に、たたらには大量の水が必要でした。その用途のひとつが、燃焼が終わった炉から鋼の塊(はね)を引き出して急激に冷やすため。満々と水をたたえる鉄池に鉋(けち)を投入する必要がありました。1400度以上の高温で熱した鉋ですから、鉄池の水は直ちに沸騰。どれほど大量の水が必要だったかは想像に難くありません。

つまり、たたらは、豊かな森林と豊かな水に恵まれた土地だけに成立する、特殊な技術だったというわけです。

たたらで繁栄した地は、龍頭ヶ滝に代表されるように豊かな湧水があり、恵みの水を利用して田んぼが広がり、おいしいお水とお米が育ちました。さらに、鉄穴流し跡の地形を利用して棚田という美しい風景が生まれました。こうして農業が発達すると鋤(すき)や鋏(くわ)など農具が必要となるわけで、刃物鍛冶の高い技術が伝承されているのも必然です。この地で鉄の商売に欠かせないそろばん製造が盛んになったのは、そろばんを製造するための上質の刃物を加工する技術が根付いていたことが製造技術の発達を加速させたものでしょう。



仁多米

標高300~500mに位置する仁多郡の棚田で、昔ながらに栽培されるブランド米「仁多米(にたまい)」。当地は、森林が面積の約9割を占め、雪解けの花崗岩(かこうがん)から湧き出るミネラル豊富な岩清水(いわしみず)が豊富な里。寒暖差の大きい気候とともに、お米づくりの好条件に恵まれています。なんでも、お米500kgをつくるためには、田起こしから収穫までに約150tの水が必要といわれ、当地が豊富な水の里であることがよく分かります。



奥出雲の棚田

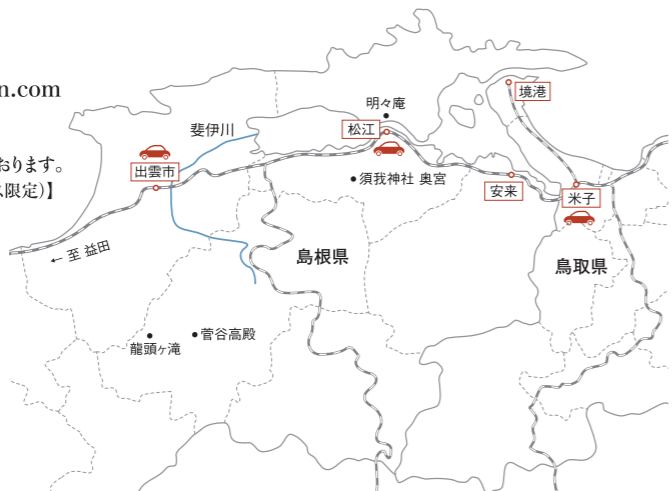
砂鉄を採るために山を切り崩した跡地を利用して、田んぼに整備して偶然にできた奇跡のような風景です。棚田の中に点在する小さな丘は「鉄穴残丘(かんなざんきゅう)」とって、墓地など信仰の対象であったために切り崩されず残された土地です。また、鉄穴流しの水路はそのまま、農業用の灌漑(かんがい)用水路として現在も活用されています。

🚗 駅レンタカー営業所のある駅 <http://www.ekiren.com>

観光・ビジネスに便利。駅から徒歩圏内。山陰にお越しの際は、駅レンタカーのご利用をお待ちしております。【グッとくる山陰提示で基本料金の20%割引いたします。(Sクラス限定)】

- ◎鳥取営業所 TEL:0857-24-2250
- ◎米子営業所 TEL:0859-34-1140
- ◎松江営業所 TEL:0852-23-8880
- ◎出雲市営業所 TEL:0853-21-8193
- ◎西日本予約センター TEL:0088-24-4190

※4月27日~5月6日、8月11日~20日、12月28日~1月6日は割引対象外
※Sクラス以外のクラスは割引対象外。※台数に限りがございます。
※ご利用・ご予約の際は「グッとくる山陰プラン」とお伝えください。



刃物鍛冶

町並みに鉄を叩く音が響く奥出雲町は、古くから農具刃物を盛んにつくっていた生産地で、今も数件の刃物鍛冶屋が残っています。1本1本手作りで鍛錬する技法は昔と変わらず、長く持続する鋭い切れ味に定評があります。また高度な技術を誇った「たたら」の直系といえる日立金属安来工場で生産される安来鋼は、「YSSヤスキハガネ」のブランドで、カミソリ刃世界シェアトップ製品を生み出しています。



山陰いもの探検隊 隊員
さきの湯温泉「竹葉」女将
しまね観光PR大使

小幡 美香
おばたみか

安来節とじょうすくい踊りの准師範の資格をもつ踊れるアイドル女将、そして初代・出雲美魔女として地域で活躍中。持ち前の好奇心を武器に今まで知らなかった山陰の宝探しの旅にご協力いただいています。



雲南市産業振興課
商工観光課

鈴木 佑里子
すずき ゆりこ

雲南市、飯南町、奥出雲町の魅力発信に取り組む女性グループ「おくいずも女子旅つくる委員会」の代表として、お客様のおもてなしに様々なイベントを企画。今回のたたら文化について詳しくお話を聞きました。



正真正銘の 出雲そば

全国的にも知名度が上がってきている出雲そば。その中でも、出雲産のそば粉を贅沢に100%使用した出雲たかはしの「出雲そば」。割り子はもちろん、ざる、釜上げでも美味しくいただけます。釜上げでも美味しくいただけます。釜上げでも美味しくいただけます。釜上げでも美味しくいただけます。



出雲生そば ¥1,620
(つゆ付き6人前)
[取扱店]
○松江駅のおみやげ楽市
○出雲市駅セブン イレブンハートイン
株式会社キンヤ
島根県雲南市加茂町
東谷182-1
電話:0854-49-6637
http://www.kinya.co.jp



お好みでそば湯も
お楽しみください!

「本物」を 求める皆様へ



出雲地方東部は古くから和鉄の産地として名高く、鍛冶職人の技術が磨かれてきました。鍛冶工房弘光は江戸時代のたたら採炭から鍛冶業を営み、打刃物、小農器具、生活用具に加え、刀剣鍛錬の道に励み、生活に豊かさを与えたいという想いで、工芸品の製作にも取り組み、「透かし燭台」が完成しました。蠟燭を灯すと皿を通して灯りが広がり、ゆらめく炎と影のコントラストは、伝統を感じさせる一方、心に癒しも与えてくれます。

透かし燭台
¥4,104
[取扱店]
○松江駅のおみやげ楽市
鍛冶工房弘光
島根県安来市広瀬町
布部1168-8
☎0854-36-0026
http://kaji-hiromitsu.com



1点1点、心を込めて造り上げています



しまね三昧

神話の郷の 神秘の香り

奥出雲藩微園は、島根県内初の産業型藩微園。観賞用以外に使う為の藩微の育種研究をし、香りや色、機能性を活かした新素材の開発を行い、食品、化粧品、医療分野などに原料素材提供をしています。プレミアムスパークリングローズは、着色料や香料を使用せず、藩微本来の香りと色を活かして、独自に開発した商品です。天然ローズの芳醇な香りは、スイーツと相性抜群。日本酒等を割って飲むこともお勧めです。



プレミアム
スパークリングローズ (200ml)
1本 540円
2本セット 1,296円
[取扱店]
○米子駅のおみやげ楽市 (単品のみ)
○松江駅のおみやげ楽市 (単品・セット)
○出雲市駅セブン イレブン
ハートイン (単品・セット)
(有)奥出雲藩微園
島根県大田市長久町411-14
☎0854-83-7330
http://fregrance-rose.com



フランスや、バルネアのローズも、ギフトにも喜ばれます

寛保三年 から続く、 こだわりの 酒造り

月山大吟醸 (720ml) ¥3,348
[取扱店]
○米子駅のおみやげ楽市
○松江駅のおみやげ楽市

島根県の東部に位置する、緑豊かな山紫水明の中山間地。当藩は戦国時代に山陰地方を統治していた尼子氏が居城(月山富田城)を置いた広瀬町にあり、酒名「月山」もこの城山に由来するものです。なめらかでふくらみがありながら、キレが良く、飲み飽きしないすっきりとした味わいは海外のお客様や、女性のお客様に好まれます。「月山大吟醸」は平成28年広島国税局清酒鑑評会「香り」を主たる特徴とする「部門」にて優等賞を獲得しました。



吉田酒造 (株)
島根県安来市広瀬町広瀬1216
☎0854-32-2258
http://www.e-gassan.co.jp

これから日本酒を
知りたい方こそ
味わってほしいです

平飼い有精卵を たっぷり贅沢に



日本和銅の中心産地として栄えた自然豊かな雲南市吉田町に田部養鶏場があります。平飼い飼育にこだわり、地面を自由に動き回れるストレスの無い環境の中で丹精込めて鶏を育てています。元気がいっぱいから生まれた有精卵をたっぷり使った「森の国たなべのたまごぶりん」の口溶けと、たまごの風味が口いっぱいに広がるこだわりのプリンです。



株式会社田部 田部養鶏場
島根県雲南市吉田町
吉田4382-54
☎0854-74-0675
http://www.tanabeco.com

常温で日持ちがするもポイントです!



森の国たなべのたまごぶりん
(1個) ¥250 (4個入り) ¥1,100
[取扱店]
○米子駅のおみやげ楽市 (単品のみ)
○松江駅のおみやげ楽市 (単品・4個入り)
○出雲市駅セブン イレブン
ハートイン (単品・4個入り)

上品な ブランド米の 味わいを感じる 高級煎餅



西日本随一の奥出雲の仁多米を白米と発芽玄米をブレンドし、お米油などでパリッと香ばしくおこげ煎餅にした「仁多米煎餅」。そのまま食べるのはもちろんのこと、お茶請けに入れてみたり、ジュラートや白玉善哉のスイーツのトッピングとして使ったりと多種多様に利用できます。是非島根を代表する仁多米を様々な食事の場面で楽しんでください。



(有)井上醤油店
島根県仁多郡出雲町下阿井1430-2
☎0854-56-0390
http://inoue-shoyu.jp

仁多米煎餅 (7枚) ¥513
[取扱店]
○米子駅のおみやげ楽市
○松江駅のおみやげ楽市
○出雲市駅セブン イレブン ハートイン

豊潤な、味わい、香りを楽しんでください

出雲湯村温泉水 しっとり柔らかな肌ケア



奥出雲の自然に育まれた歴史ある出雲湯村温泉。その温泉水を源泉から汲み上げて作ったスキンケア商品「shinsui スパピュア」に、出雲湯村温泉の泉質は低張性のため、肌への浸透率が非常に高いのが特徴的。温泉ミネラル成分が肌のキメを整え、まるで湯上がりのようなしっとり柔らかな肌に。防腐剤や保存料などを一切使用していない無添加製法なので、安心して日常の保湿ケアにお使いください。



shinsui
スパピュア ミスト (80g) ¥1,404
[取扱店]
○松江駅のおみやげ楽市
○出雲市駅セブン イレブン ハートイン
出雲湯村温泉 (株) 松江事務所
島根県松江市魚町49
☎0852-21-2123
http://www.izumo-yumura-onsen.jp



地元産の良質な 酒米のみを使った こだわり純米酒



絹乃峰 蔵生地
(720ml) ¥1,512
[取扱店]
○松江駅のおみやげ楽市
○出雲市駅セブン イレブン ハートイン

島根県内初、飯南町産酒米を100%使用した香り高い純米酒「絹乃峰 蔵生地」。寒暖差が大きい飯南町は有数の米どころ。赤米酒造は、飯南町の良質な酒米のみを使って酒づくりを行っています。現在は海外展開も視野に入れ、昔ながらの酒蔵を近代的な設備に新しく、これまでの経験や勘に加え、詳細なデータに基づく酒づくりを徹底。良い酒をつくるためには手間を惜しまない姿勢が伝わります。



株式会社赤名酒造
島根県飯石郡飯南町赤名23
☎0854-76-2016
http://kinunomine.com

日本酒を
世界に広めたい!

左記マークのついた商品につきましてはJR駅構内の店舗などで取り扱っております。

※掲載商品の金額はすべて税込表示です。